

主要国の貿易の縮小と回復

・主要国の輸出入は3割減少

拡大が続いていた世界貿易は2008年第4四半期以降、急速に縮小した。主要国21カ国の貿易額は2008年第4四半期には輸出で18カ国、輸入で16カ国が前年同期比マイナスとなり、2009年第1、第2四半期における20カ国(注)の合計は輸出入とも前年から約30%減であった。

日本の輸出は2009年第1四半期が前年同期比40.6%減(20カ国で2位の減少率)と、2001年第4四半期の20.8%減を上回った。一方、輸入は29.0%減で比較可能な1958年以降最大の減少率となった。

米国は輸入額の減少が大きく、2009年第2四半期の貿易赤字は1,100億ドル近くにまで縮小した。

中国は2009年第2四半期の輸入額が主要国の中で唯一、2008年第4四半期を上回った。

・2009年第2四半期から回復の兆し

2009年の主要国の貿易は前年に比べて大幅な減少となっているが、回復の兆しも見られる。2009年第1四半期から第2四半期にかけて、20カ国のうち輸出は18カ国、輸入は15カ国で貿易額が増加に転じた。第3四半期における輸出入額は日本・米国・中国では前期からさらに増加した。特に中国の輸入額は米国に近づきつつあり、経済危機を経て中国の存在感は一層高まっている。

(吉岡)

(注) 未公表のインドを除く

【参考】日本・米国・中国の2009年第3四半期の輸出入

輸出				輸入			
	金額 (10億米ドル)	前年同期比 (%)	前期(第2Q)比 (%)		金額 (10億米ドル)	前年同期比 (%)	前期(第2Q)比 (%)
日本	154.848	-24.5	17.7	日本	143.179	-30.6	16.8
米国	264.520	-21.5	5.2	米国	407.539	-28.8	12.3
中国	325.065	-20.3	17.7	中国	285.792	-11.8	18.4

(出所) 各国通関統計